

# SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名 ( 株式会社 鹿大丸 )

分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット) 関連項目																													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している。	●		・経営理念及び経営目標を明文化し、社員へ周知・共有している。 ・ホームページや事務所に掲示している。												8	9										17							
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守に関する方針や重要性について、社員へ周知・浸透を図っている。 ・ISOマネジメントシステムにより、遵守評価している。																						16								
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・企業活動に必要な組織体制を整備している。 ・社内における組織の編成及び命令系統並びに業務分担が明確化している。 ・緊急時連絡体制を整備している。																						16								
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・地元説明会や工事案内チラシの配布など、地域住民に工事への理解を深めてもらうよう努めている。 ・地元住民の要望や苦情等を記録に残し、その都度適切に対応している。																						16	17							
	5	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。		●																							16								
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●		・自然災害や事故などに備え、防災用資材を常備している。 ・感染症を想定した対応マニュアルを策定し、社員へ配布・周知している。													9			11			13.1		16	17							
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●														8	9									17							
公正な取引	8	【贈賄の禁止、公正な競争】 ・汚職・贈賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職・贈賄の禁止及び不正な競争・取引の禁止について、社員に周知している。																						16.5								
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・他社の特許等を侵害しないよう、社員へ周知している。 ・業務に関する見積り、図面、打合せ記録等が、外部に漏洩することがないように適切に管理している。											8.2	9																		
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の適切な管理に努め、個人情報の記載してある不要になった文書等は、速やかにシュレッダーで裁断し破棄している。 ・情報漏洩防止対策として、秘密保持契約に関する協定を交わしている。																						16								
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●		・パートナーシップ構築宣言の登録を行っており、適正取引を実行するとともに、協力会社等に対して適正取引の普及啓発と人材育成等の支援に努めている。						5						8									12	13	14	15	16	17			
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2										5										8			12	13	14	15	16
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記しており、社員に周知徹底している。 ・ハラスメント相談窓口を設置し、体制を整備している。											4.3	5.1											8.5						16.1	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・有給休暇の取得促進を図る為、毎月実施する社内会議において取得状況を報告し、休暇の取得を促している。 ・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革に取り組んでいる。												4.4	5.2									8.7						16.2		
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・ISO45001を取得している。 ・毎月安全衛生委員会を開催し、法改正等の適正化を行っている。 ・毎月、社内安全パトロール及び外部診断員による安全パトロールを実施し、労働環境の整備・改善に努めている。																							8.8						16.7	
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・育児・介護休業規程を設けており、取得実績も有る。 ・希望者には、定年以降の継続雇用を行っている。 ・障がい者雇用を行っている。													4.4	5.1									8.5						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職種や役職に応じた講習や研修を受講している。 ・資格や免許等の取得予定表を毎年度作成し、計画に基づき受講及び費用の補助を実施している。 ・若手社員の指導・育成に取り組んでいる。														4	5.5								8	9						

# SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名 ( 株式会社 鹿大丸 )

分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット) 関連項目																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金ガイドラインに沿った、公正な待遇を行っている。 ・社会保険労務士確認の上、適宜就業規則の見直しを実施し、公正な待遇を維持している。					5.5				8.5		10.2 10.3													
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・かごしま健康企業宣言の登録を行っている。 ・従業員の定期健康診断及び雇入れ時健康診断を実施し、費用補助を行っている。							3			8														
	20	【DXの推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・ドローン、測量機器、重機などICT技術を積極的に導入し、業務の効率化に取り組んでいる。										8	9.1		11	12										
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 (例) 鹿児島県女性活躍推進宣言企業、かごしま子育て応援企業、かごしま「働き方改革」推進企業		●	・かごしま子育て応援企業の認定を受けている。								3	4	5			8		10									
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		・自社が排出する廃棄物等について、廃棄物処理業者に委託し適切に処理している。 ・有害化学物質については安全データシート(SDS)に基づき、リスクアセスメントの実施及び適切に取扱い・管理を行っている。								3.9		6.3				11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事業所別に電気使用量の確認を行うとともに、エアコン設定温度、こまめな消灯、節電の管理を実施している。 ・社有車や重機等で使用するガソリン・軽油使用量を把握し、計画的な削減に取り組んでいる。											7.3					13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・排出ガス対策型建設機械の導入、使用している。 ・かごしまエコファンド制度(カーボン・オフセット)を活用している。						2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、かごしま認定リサイクル製品等)。	●		・かごしま認定リサイクル製品及びエコマーク認定商品を、積極的に使用している。 ・再生用紙利用を実施している。																9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		・環境に配慮した材料、製品の活用を通じて、生物多様性の保全に努めている。 ・建設工事に伴って排出された排水や汚泥などで、生態系に悪影響を及ぼさないよう取り組んでいる。											6.6							14	15					
	27	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・廃棄物の削減、分別を行い、可能な限り再資源化に努めている。 ・再生紙の利用を促進している。 ・両面印刷及び裏紙の使用を推進している。											6.3				9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15			
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている。		●												6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15			17		
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●																			12.3		14	15		17	
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●	・ISO14001を取得している。 ・グリーンオフィスかごしま(環境管理事業所)の認定を受けている。									3.9		6	7						12	13.3	14	15			
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●																				12.6					
32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●													7.1 7.2 7.3 7.a				9.4			13.1 13.3						
33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●																				12.2	13	14	15			
34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等、持続的な森林利用への取組を推進している。		●	・鹿児島県産材の利用を推進している。											6.1 6.3 6.6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			

